



# かどや通信

第27号

発行日：平成30年7月

発行行：かどや保存会

発行責任者：寺田 直喜／編集：廣野 克子

## お蔭様で五周年！ 八代目当主作成の随糊帳を記念開帳！

鳥羽大庄屋かどやは、平成二十五年五月に一般公開が始まり、今年五月に五周年を迎えた。

六月二十四日には五周年記念式典が行われ、小竹篤教育長と中村欣一郎市長が祝辞を述べた。また、今年度かどや保存会会長が清水久行さんから寺田直喜さんに交代したため、両氏もあいさつに立った。



寺田新会長

寺田会長は十周年に向け情報交流の場としてより多くの方々に活用されるよう工夫していききたいと抱負を述べ、清水前会長



全力でかどやに貢献した清水前会長

は同会設立当初からの歩みやかどやにかけてきた熱い思いを話してくれた。その後は月例の風下がりコンサートに移り、かどやの蔵に長年眠っていた長尾オルガンのコンサートが行われた。オルガン・コンサー



左から山野、長尾、西川オルガン

製造の西川オルガン（大正時代に日本楽器・現ヤマハの傘下に入ったため、表記は「ニッポンガッキョコハマファクトリー」の三台を使い、聖歌や日本の唱歌、大森さんが師事した大中寅二氏の作品、寅二の息子で今も親交の深い大中恵氏の作品等を軽妙な語りを交えながら演奏。アンコールでは四十九鍵の西川オルガンで「アメーzing・グレイス」を演奏し、重厚で気品に満ちた奏法が参加者を魅了した。

**大中寅二**…作曲家。「椰子の実」をはじめオルガンや教会音楽を多数作曲。約六十年間、東京赤坂霊南坂教会のオルガニストも務めた。  
**大中恵**…作曲家。歌曲や合唱曲、「さっちゃん」「犬のおまわりさん」等の童謡も多数作曲。

## 随糊帳特別開帳

五周年記念として、廣野家八代目当主が作成した随糊帳（スクラップブック）二十冊のうち二冊が当日限定で公開された。



随糊帳は明治三十年代に数年をかけて作られたもので、今回公開された中には、時事新報附録として人気役者の肖像や相撲番付表をはじめ八代目の関心の高かった種々雑多なものが多数貼られており、当時の庶民文化を知ることができる貴重な資料となっている。かどやでは今後も折を見て公開する予定だ。



## 今や夏の風物詩！ 新宿ジャズがやって来た！

今や鳥羽に夏の到来を告げる「新宿トラッドジャズフェスティバルイン鳥羽」が七月一日十八時から、鳥羽市民文化会館で開催された。

本番に先立つ十三時から同コンサートの出演者によるライブが今年もかどやで行われた。この事前



### トラッドジャズとは

トラディショナル(伝統的な)ジャズの略称だ。ジャズは十九世紀後半にルイジアナ州ニューオリンズで生まれたと言われている。古くは黒人が演奏するものをニューオリンズジャズ、白人が演奏するものをデキシーランドジャズと称していたが、次第に区別がなくなり、デキシーとかトラッドジャズと



ライブは四年前から始まった。一回目は本番の出演者十八名中八名が参加。翌年は二十四名中十九名、昨年は二十名中十六名がかどやで演奏してくれたが、今年はなんと本番の出演者十九名全員がかどやに足を運んでくれた。

今回も、トランペット、クラリネ

と呼ばれるようになった。

なお、デキシーランドとは、アメリカ南部諸州を指し、南北戦争で南軍側に加わった州の俗称である。名前の由来は諸説あるが、ルイジアナ州がフランス領だった時代に、紙幣に十を表す「DIX」が印字されており、その地方「LAND」を合わせたという説がある。

参考：ウィキペディア、コトバンク

ット、サクソフォン、トロンボーン、ベース、バンジュー、ピアノ、(ドラム)とボーカルの編成で、関東を中心に活躍する一流プレイヤー達がご機嫌なジャズをたっぷり演奏してくれた。会場は、時に手拍子に揺れ、時にうっとり優しい音に酔いしれる至福の時間が流れた。

「かどやでこんなに目いっぱい演奏して、本番は大丈夫か」と心配になるほどの熱演だったが、夜のステージにはドラムも加わり、更にパワーアップした演奏を披露。プロの凄さが会場を圧倒した。

### 《地元ジャズメンも熱演》

六月十六日に開催された第六十七回かどや昼下がりにコンサートでは、「懐かしの映画音楽をジャズトリオで」と題し、地元のジャズメンがご機嫌な演奏を披露してくれた。

演奏は宮崎義明スーパージャズトリオで、リーダーの宮崎さんがサクソフォン、ベースは数年前に伊勢市に戻って来た桜井理さん、キーボードは鳥羽市在住の間島宏さんが担当した。実はこのトリオは「スーパー」にふさわしい実力者揃いだ。伊勢市出身の宮崎さんは仕事の関



係で長年関東に住んでいたが、学生時代に始めたサクソフォンで関東でもビッグバンド等に加わり演奏活動を続けていた。桜井さんも長年関東で仕事の傍らベーシストとしても活躍、現在もライブ活動を続けている。間島さんも社会人時代に会社のビッグバンドでピアニストとして大活躍し、現在も声がかかれば日本中を飛び回るスーパージャズメンだったのだ。

参加者は、そんな彼らが奏でる昔懐かしい映画音楽にスィングし、至福の時を過ごした。

次回の演奏は十一月二十五日(日)。  
お聴き逃がしなく！



**今年度も新企画続々誕生！  
交流の輪、更に広がる**

かどやでは、地元の方々が集い、趣味等を通じて交流を深めていただけるような様々な企画を実施している。昨年度は、子育て世代のママさんを対象にした「お針子倶楽部」と「おさかな倶楽部」がスタートした。「お針子倶楽部」は徐々に参加者層が広がり、今では年齢に関係なく裁縫好きがいそいそと集まってきている。約二時間黙々と作品作りに向き合い、出来上がるのと、ついに完成品を抱えて帰っていく。

このように趣味を深める教室が、今年度も誕生した。

**《手芸倶楽部**

**吊るし飾りに魅せられて》**



今年三月の展示「ひな祭りに寄せたふたり展」灯のオブジェと吊るし飾り」が大好評で、吊るし飾りの作り方を習いたいというリクエストが多く寄せ

せられた。そこで、作者の大屋さんにお願ひし、三月三日のかどや塾でうさぎのお雛様を作る講座を開いたところ、定員をはるかに超える十七名が参加。大屋さんの懇切丁寧な指導が好評で「もっと他の飾りも習いたい」という声があがり、吊るし飾りに特化した手芸倶楽部が発足した。四月は椿、五月は朝顔、六月は手まり、七月は金魚と、毎月着々と新しい飾りが増えており、来年の雛祭には、華やかな吊るし飾りが完成する予定だ。

参加者はお針子倶楽部同様、約二時間黙々と熱心に針を動かしており、「結構大変やけど、楽しいわ」と話している。

**《まゆみ塾**

**暮しを彩るテーブルコーディネート》**

まゆみ塾も、昨年五月のかどや塾が出発点だ。同塾で、テーブルクロスを工夫し、かわいい花を飾るだけでテーブルがおしゃれに変身するテーブルコーディネーション術を紹介したところ、まゆみファンが急増し、定期的な講座として実施することになった。

今年五月にまゆみ塾としてスタートし、初回は紅茶の基礎知識とアフタヌーンティのテーブルセッティングを学び、きゅうりのサンドイ



ッチを作り、まゆみさん手製のスコーンと一緒に試食した。六月は涼しさを演出しようとして金魚鉢のような小さなガラスの花びんを使い、涼しげなフワーアレンジメント術を教わった。

その後クラシック音楽をBGMに、ダーズリンティとまゆみさん手製のドイツのケーキで会話も弾んだ。

塾前日のまゆみさんは、準備で徹夜に近くなることもあるという。ケーキを焼き、花の取り合わせを考え、当日は朝から花屋を巡る。野の花を使う時は、早朝から花を探して遠出することもあった。わざわざケーキまで焼かなくてもと思うが「知識や技術を伝えるだけでなく、テーブルコーディネートで彩られた素敵な空間でほんのひと時でも、ゆったりとした時間を過ごしてもらいたい」がまゆみ塾のコンセプトだという。

「ちょっとした工夫で、雑草でも素敵に活かせることが分かって、楽しい！家でもやってみるわ」と、参加者達は目を輝かせている。

**新しい季節②ベランダにはかなわない**

前々号でご紹介したように、四月から新人スタッフが仲間入りしてきた。

ユウジさんはかどやと同じ四丁目出身で近所に顔がきくうえに、大工仕事が大得意。ちよつとした修理はあつと言う間に使い勝手よく直してくれて拍手を浴びている。ミツキさんはお伊勢さん案内人として今も活躍中だが、週に一度はかどやに出勤し、かどやの案内を難なくこなしてくれる。掃除の匠として登場したノブちゃんも初出勤日に「天井の掃除はいつしようか」と聞くではないか。年末の大掃除以外に天井掃除を考えると人がいるのだとびっくり。このようにベランダ同様、新人スタッフも頼もしい！

ところで、新宿のジャズメン達には昨年、昼食にたご飯を提供し大好評。これは、百人単位の料理もさりとこなすチエミちゃんのおかげだが、彼女もスタッフを卒業した。ただ、困った時にはサポートOKと言ってくれたので、今回の昼食も躊躇なくお願いした。すると、味ご飯三升とコロッケ山盛り、さらにきゅうりのきゅうちゃんまで作ってくれて、どれもすこぶる美味と大好評だった。

こちらも甘えてばかりはいられないと、キャベツときゅうりの酢の物と吸い物を担当し、早朝から野菜刻みに汗を流した。ところが一番好評だったのはスープで買った野菜の浅漬け。やっぱりベランダにはかなわない。

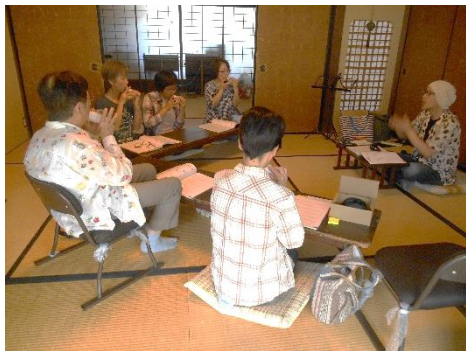
卒業したスタッフさん、これからも時々サポートお願いします。

## 《オカリナ教室も開講》

五月十三日のかどや塾ではオカリナ奏者・加藤真彦さんによる「オカリナ体験教室」が開かれた。メジャーな楽器ではないので、人が集まるか心配したが、二十五名が参加した。

前半は、加藤さんとキーボードの田村美保子さんによるデモンストラクションが行われ、オカリナのやさしく澄んだ音色にうっとりする人も。しかし、後半の体験レッスンは、全員が初心者だ。加藤さんの指導の下、ドレミの音の出し方を練習したが、時々奇妙な音がかどやの館内に響き渡った。

ところが、参加者はかなり満足そう、その場でオカリナ教室の生徒募集をしたところ、五人が名乗りをあげ、早速六月から月二回の教室が



開かれることになった。生徒も徐々に増え、七月はなんと十名となった。今は基礎のドレミフ

アの指のポジションを繰り返し練習しているが、伴奏の音源に合わせ音を出すため、単調な練習も飽きることなく進んでいるようだ。肺活量もかなり必要なので、健康効果もありそうだ。あなたも一度、体験してみませんか。

## 方位石、かどやに戻る！



最近かどやの庭に方位石が出現した。これは、

明治四十四年に参宮鉄道の山田・鳥羽間が開通したことを記念し、廣野家八代目当主・藤右衛門が鳥羽駅前の日和山に観光施設として造った廣楽園に設置したものだ。現在は草に埋もれてしまっていたので、かどやに戻ってきたのだ。

方位石とは、方位を定める石で、方角石とも呼ばれている。江戸から明治初期にかけて回船業者や漁師が天候予測や風向きを知るため港の見える小高い丘に置かれていたものだ。

かどやの方位石で、かつての鳥羽湾の賑わいに思いを馳せてみませんか。

時間区分 部屋	午前	午後	全日	冷暖房設備 利用料
	10時～12時	13時～16時	10時～16時	
座敷南(10畳)	500円	600円	1,000円	500円
座敷北(8畳)	400円	500円	900円	——
仏間(6畳)	300円	400円	700円	——

- ・営利目的の場合は、料金表の10割増しとなります。
- ・鳥羽市民または市内勤務者以外の利用は、料金表の5割増しとなります。
- ・許可された使用時間を超過する場合は、割増料金が発生します。
- ・冷暖房費は、全日使用の場合は2倍になります。

◆◆貸部屋の案内◆◆  
かどやを有効にご活用いただくとうと、一部の部屋を貸部屋として貸し出しています。茶話会や勉強会、展示会などにご活用ください。詳細は、かどやへ。  
電話〇五九九―二五―八六八六

## かどや保存会 平成30年度会員募集中！

かどや保存会は、歴史的文化財である「鳥羽大庄屋かどや」の保存ならびに効果的な活用・運営をめざして活動を続けており、当会を支援して下さる会員を募集しています。

お陰さまで29年度は331名の方々が会員登録され、本年度も5月20日現在で220名の方にご登録いただきました。30年度も一人でも多くの方々に楽しんでいただけるよう、更にこの輪を広げたいと思います。ご登録がまだの方は是非ご登録・ご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

30年度(H30/4/1～H31/3/31)の年会費(1口2,000円)は、継続・新規を問わず、以下の方法で納入ください。

- (1)手渡し：かどやにお越しいただき、直接事務局にお支払いいただく。
- (2)銀行振込：郵便局 普通 かどや保存会 00850-4-151751  
百五銀行 普通 かどや保存会 801-460713